

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

感謝の月を迎えて

校長 小山 裕之

2月半ばのことです。地域にお住まいのお二方が、御礼・報告にと本校にお越しくださいました。事情をお聞きすると、自宅近くでお孫さんの行方が分からなくなり慌てていたところ、下校途中の生徒が「大丈夫ですか？」と声を掛け、駅や役場周辺を6名で捜してくれたとのこと。幸い、夕方交番で保護され、事無きを得たそうでした。



他にも、「強風で扉が破損した片づけを、通りかかった生徒が手伝ってくれた。」「怪我をした男性を発見し、119番通報をしてくれた。」「部活動をととても熱心に指導していただいている。」等、複数のうれしい御連絡をいただきました。

「何か困っているのかな？」と感じる場面を見かけても、その場ですぐ判断し行動に移すのは、大人でも簡単にできることではありません。校外での勇気ある優しい行動をお聞きし、自分事のようにうれしくなりました。また、わざわざお知らせくださった方々のお心遣いに、こちらがお礼をお伝えしたいような温かい気持ちになりました。



1月末には、1年生が2泊3日のスキー教室、2年生は東京班別学習を行いました。1年生の実行委員さんに感想を尋ねると、「学級委員になって、初めはわからないことがたくさんあったけど、みんなと色々なことに取り組む中で、スキー教室では全員が協力して過ごせてよかったです。」「私は2つのことを意識して行動しました。1つ目は『声かけ』です。リフトを怖がっている友達に『大丈夫だよ。』等、困っている友達、頑張っている

友達に声をかけました。2つ目は、『時間を意識して行動すること』です。時計やしおりを細目に確認し、次の予定を考えて行動できました。」等と語ってくれました。

2年生は、水族館や浅草、アメ横等の見学が楽しかったことや「日頃から時間を意識しながら生活し、メリハリをつけることが大切」「全員で楽しむためにルールを守り、一人一人が予定をしっかりと確認しておくことが大切」等、沢山の学びがあったことを教えてくれました。仲間と一緒に楽しさや苦労を分かち合いながら、高みを目指して着実に成長する子供たちの姿を見た気がしました。



1月末と2月に行った生徒会朝礼では、各委員会から現在の取組の紹介や報告、協力への感謝の言葉等が語られました。クイズで問いかけたり、委員の皆が笑顔で歯磨きする様子を動画で紹介したり等、それぞれの委員会の工夫が感じられる発表でした。また、「3年生を送る会実行委員会」からは、委員のメンバーやスローガンの紹介等が行われました。スローガンにある「新希夢現」という言葉には、3年生が新しい道に向かって希望と夢をもち、それを実現して欲しいという願いが込められているそうです。また、「流青群」という言葉には、一人一人の個性を輝かせて進んで欲しいという願いが込められ、「青群」を反対から読むと、3年生が合唱祭で歌った「群青」という曲名になるそうです。それぞれの言葉に、3年生への感謝の想いが紡がれているのを感じました。



間もなく卒業を迎える3年生からは、校長面談の中で、いつも温かく支えて下さった保護者の方や周囲の方々への感謝の言葉が聞かれます。「お家の人にも、その気持ちを言葉で伝えられたらいいですね。」と返すと「はい。」と返事をしながら、笑顔で頷いてくれました。

令和6年度の本校の教育活動が最終月となりました。保護者・地域の皆様には、本年度も温かい御支援と御協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。次年度につきましても、引き続き、どうぞ宜しくお願いいたします。